

2012 “World AIDS Day” キャンペーン 加高

★世界エイズデーとは…

1988年にWHO(世界保健機関)が12月1日を“World AIDS Day”と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱しました。その後1996年からUNAIDS(国連合同エイズ計画)もこの活動を継承しています。

日本でもその趣旨に賛同しエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進し、エイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図ることを目的として、12月1日を中心に「世界エイズデー」を実施しています。

今年のキャンペーンテーマは、「**AIDS GOES ON**」…エイズは続いている～」です。エイズは、依然、増加傾向にあり平成23年度のエイズ患者の報告数は過去最多でした。キャンペーンテーマには、エイズが今でも続いていることを多くの人に気づいてもらおうといった意味が込められています。

★加治木高校でも12/1～12/17まで、保健室と図書館が協賛してキャンペーンを行っています。

★キャンペーン内容

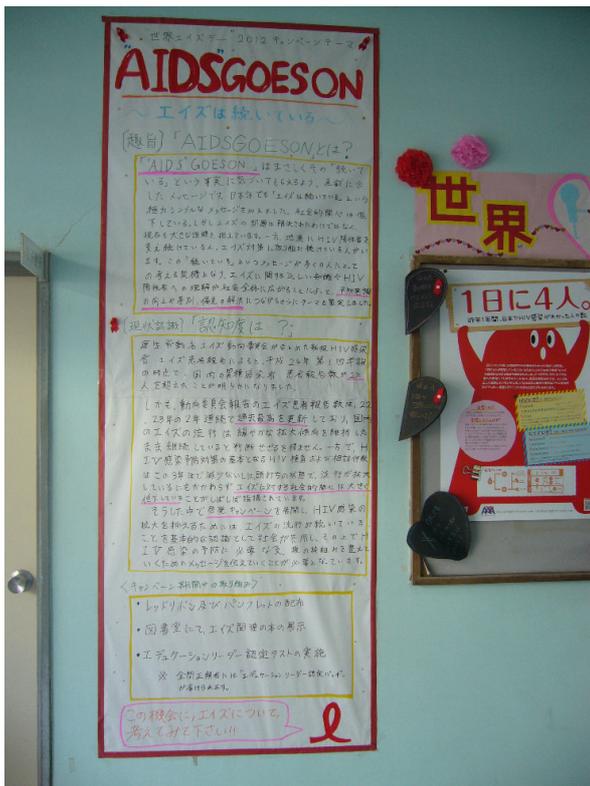
- ★生徒保健委員会が作成した“レッドリボン”の配布
- ★3棟東側1階廊下には、HIV/AIDSのポスターを掲示
- ★図書館では、「エイズに関する本の展示」
- ★エデュケーション・リーダー認定テスト(エイズに対する知識のテスト)の実施



ポスター掲示



エイズに関する本の展示



ポスター掲示



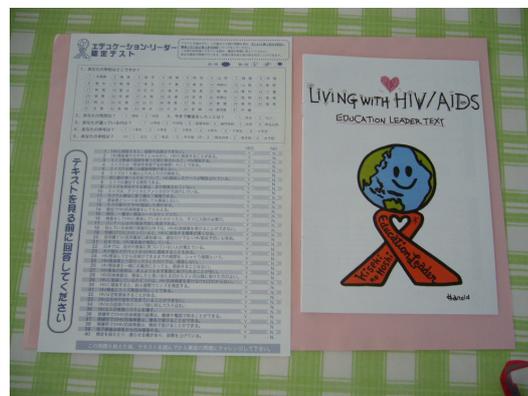
ポスター掲示



レッドリボン



ポスター掲示



エデュケーション・リーダー認定テスト